

## 10803医薬品製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2018	1	12 ～ 13	1階で他事業所への出荷作業のため梱包されたスモールボックス（約70kg）を、4人で備え付けの持ち手を持ちパレットから台車への搬送作業を行った（腰痛ベルト着用）。直後に痛み等はなかったが、しばらくして腰に痛みが出た。	55	19	611	500 ～ 999 人
2	2018	1	9 ～ 10	洗浄室にて洗浄作業中、洗浄機に近くの坂になっている床部分に足を取られて転倒した。咄嗟に左手をつき右足で踏ん張ったが左肩から洗浄後の支柱に激突した。	43	7	169	10～ 29人
3	2018	2	17 ～ 18	会社指定の駐車場に停車している車両に向かい歩行中、運転席付近で路面凍結に気付かずに右足を滑らせた。右足が斜め前方に滑り、股を大きく開いた状態で倒れかけ、右大腿骨頸部を骨折した。	62	2	417	500 ～ 999 人
4	2018	2	18 ～ 19	粉砕作業中、スクリーフィーダーが結晶で詰まり、それを除去しようとしたとき、指先がスクリーフィーダーと接触し負傷した。	25	7	162	100 ～ 299 人
5	2018	2	10 ～ 11	薬品のカンゾウを3段目から4段目へ移動中、P.Pバンドが切れて、地面に落下し、左手首捻挫、左脇腹肋骨、及び、右手親指を折った。	65	1	221	10～ 29人
6	2018	2	15 ～ 16	製品が1枚付着していたため、通常は停止して取り除く作業を運転しながら行ってしまい、左手人差し指を挟まれ負傷した。	64	7	169	500 ～ 999 人

									人
7	2018	2	10 ～ 11	立ち作業中、後方の棚の方へ方向転換した際に、右膝に強い痛みを感じた。	31	19	921	500 ～ 999	人
8	2018	2	13 ～ 14	タンクの洗浄作業後に、タンクから外に出ようと足をステップとパドルに掛け、両手をタンクの縁に掛けて登ろうとしたところ、両足が滑り右手も外れたため左手1本で全体重を支えたため、腰痛及び背骨の歪みによる、背中痛みと頭痛が発症した。	37	19	921	30～ 49人	
9	2018	3	10 ～ 11	工場正門にある保安室裏の整備として、庇のネジ取り付け作業を実施していた。作業中に胸が痛みベンチに座って休み、その後作業を再開したが、急に意識がなくなり後ろに転倒した。	58	90	921	300 ～ 499	人
10	2018	3	15 ～ 16	生産終了後、生産資材がキャスター付きの棚の下に落ちているのを見つけ、手を伸ばして拾おうとした。左手を床につき、右手を後ろ手にする形で拾ったため、首をひねる体勢となり、痛みが発生した。	22	19	921	300 ～ 499	人
11	2018	4	14 ～ 15	当社倉庫で、製品運搬中、フォークリフトを運転していた者が一度降りて倉庫の扉の片方を開け、フォークリフトに乗り直し転回を始めたところに、フォークリフト操作者の視界に入らない位置でもう片方の扉を開けようとしてしまったため、フォークリフトに右足甲を轢かれ負傷した。	52	7	222	10～ 29人	
12	2018	4	15 ～ 16	工場内にて25kgの原料を持ち上げ、容器に移す際、腰をひねり負傷した。	32	19	611	100 ～ 299	人
13	2018	5	10 ～	荷捌き室にて、原料缶（22kg）を左側にあるパレットに動かす作	49	19	921	50～	

			11	業中左手で持ち移動させる際、腰に激痛が走った。					99人
14	2018	5	10 ～ 11	化学合成工場内でアトロピンの結晶を遠心分離機から取り出す作業後に、被災者が眩しいと訴えたため、飛散した粉体が目に混入し、散瞳したと判断し流水で洗浄後、暗所にて休ませ、病院受診したが症状が改善しなかった。	45	12	514		30～ 49人
15	2018	5	11 ～ 12	生薬原料の保管倉庫で、はい積作業終了後、荷がまっすぐ積みされていることを荷の上で歩いて確認していたところ、荷と荷の隙間に足を取られて2mの荷の上から落下し、右眉上3針縫合、左腕打撲の怪我をした。	63	1	611		300 ～ 499 人
16	2018	5	11 ～ 12	製品個包装で使うユニパック2000枚を一人で、1時間半で開けたことにより、手首の酷使で右手親指付け根の痛みと痺れが発生した。	38	19	921		100 ～ 299 人
17	2018	5	11 ～ 12	引っ越し作業中、4名でエコノミー乾燥機（62kg）を運搬中、エレベーターホール前で、3名で持ち上げたときにバランスを崩し、被災者側に倒れてきた乾燥機に当たり、右肘と右膝を打撲した。	40	5	341		30～ 49人
18	2018	5	14 ～ 15	2階包装室で作業中、パレットの上のパッキンケースを取りに行き戻ってくる際、パレットにつまずき、転倒し膝を打った。	55	2	379		50～ 99人
19	2018	5	18 ～ 19	体育館でハンドボールの練習中、相手選手と接触した際右膝をひねり、痛みが生じた。	27	3	911		—
20	2018	6	2 ～ 3	受け入れ倉庫4階サンプリング室内を歩行中、床面に足が引掛かってつまずき、右骨から転倒し、近くにあった机の脚で頭頂部を強く打った。	47	2	417		500 ～ 999 人
				製造室で、400?滅菌タンク内にホッパーを入れ、約90℃の熱水を					

21	2018	6	10 ～ 11	満たして30分間滅菌したあと、滅菌タンクの排水蛇口から熱水（85℃程度）を放出しようと、中腰で手前に引きながら排水溝へ滅菌タンクを動かした。その際、排水溝周辺の床に緩やかな勾配があったため、滅菌タンクの勢いが止まらず、滅菌タンクの手輪が排水溝へ落ちて傾き、タンク内からこぼれ出た熱水が本人に掛かり熱傷を負った。	33	11	391	300 ～ 499 人
22	2018	6	14 ～ 15	センター記録室へ向かうため廊下を歩行中、両足の上靴のつま先が床に引っ掛かり、前向きに転倒して両膝を打撲し、右肩を痛めた。	64	2	417	1000 人 以 上
23	2018	6	14 ～ 15	施設内の中央洗浄室で、洗濯乾燥機作業（水蒸気を使った乾燥作業）が終わり、蒸気元バルブを閉めて洗濯乾燥機内の配管に残った蒸気を排出する際、元バルブの閉めが緩かったため大量の蒸気が排出された。その勢いで、挿入していた排気用ホースが外れ、作業者の足下に向かって蒸気が噴出し、両臀部から両太腿内側にかけて熱傷を負った。	51	11	342	300 ～ 499 人
24	2018	7	16 ～ 17	業務終了後、帰宅しようと階段を左手で手すりを持ちながら下りていたところ、左足が階段の角に着地して滑り落ち、左足首を骨折した。	28	1	413	300 ～ 499 人
25	2018	7	15 ～ 16	箱から刃を取ろうと上から掴んだ際、取り落としそうになったため、手首を返し刃を上に向けたところ、自重で刃が手首の方へ倒れ当たり負傷した。	45	8	364	10～ 29人
26	2018	8	14 ～ 15	タンクローリー車に積み込みをするため、タンクローリー車のはしごを登っていた際、足を滑らせ地面に背中かから転落し、背中を負傷した。	45	1	221	10～ 29人
27	2018	8	16	アイボン充填室で生産終了後の清掃作業中に、薬剤の入ったハンドスプレーを戻しに行こうとした際に、エタノールで床が濡れて	58	2	417	300 ～ 499

			17	いることに気付かず、足を滑らせて転倒し、手首を痛めた。				人
28	2018	8	14 ～ 15	分包機を稼働させていたところ、シャッター一部に製品が入り込み、引っ掛かっていたため、それを除去しようと右手を入れた際、中指が挟まり負傷した。	19	7	169	100 ～ 299 人
29	2018	9	11 ～ 12	職場にてラベル貼りの作業中、下をのぞいた際に激痛が走り、腰を痛めた。	49	19	611	300 ～ 499 人
30	2018	9	11 ～ 12	工場検査包装室の一連個包装設備で、カッター部のホルダー調整後、手をどけた際にカッターに当たってしまい、爪をはがした。	50	8	169	100 ～ 299 人
31	2018	9	9 ～ 10	廊下を歩いていたとき、靴の先端が床につっかかり転倒して、右膝を強打し負傷した。	54	2	417	100 ～ 299 人
32	2018	9	11 ～ 12	職場にてラベル貼りの作業中、下をのぞいた際に激痛が走り、腰を痛めた。	49	19	611	300 ～ 499 人
33	2018	9	11 ～ 12	工場検査包装室の一連個包装設備で、カッター部のホルダー調整後、手をどけた際にカッターに当たってしまい、爪をはがした。	50	8	169	100 ～ 299 人
34	2018	9	9 ～	廊下を歩いていたとき、靴の先端が床につっかかり転倒して、右	54	2	417	100 ～

			10	膝を強打し負傷した。				299 人
35	2018	9	11 ～ 12	職場にてラベル貼りの作業中、下をのぞいた際に激痛が走り、腰を痛めた。	49	19	611	300 ～ 499 人
36	2018	9	11 ～ 12	工場検査包装室の一連個包装設備で、カッター部のホルダー調整後、手をどけた際にカッターに当たってしまい、爪をはがした。	50	8	169	100 ～ 299 人
37	2018	9	9 ～ 10	廊下を歩いていたとき、靴の先端が床につかかり転倒して、右膝を強打し負傷した。	54	2	417	100 ～ 299 人
38	2018	9	11 ～ 12	職場にてラベル貼りの作業中、下をのぞいた際に激痛が走り、腰を痛めた。	49	19	611	300 ～ 499 人
39	2018	9	11 ～ 12	工場検査包装室の一連個包装設備で、カッター部のホルダー調整後、手をどけた際にカッターに当たってしまい、爪をはがした。	50	8	169	100 ～ 299 人
40	2018	9	9 ～ 10	廊下を歩いていたとき、靴の先端が床につかかり転倒して、右膝を強打し負傷した。	54	2	417	100 ～ 299 人
			10	工場内の乾燥室で、2人1組でスライス機を使用して半製品を11mmの厚さに切る作業中、被災者がガイドと丸刃の間に溜まった				50～

41	2018	10	10 ～ 11	カスを取り除こうとしたとき、互いに声掛けをしなかったため、左手人差し指を挟み切断した。	52	8	169	99人
42	2018	10	18 ～ 19	工場でヅルピデム酒石酸塩の製造中、アセトニトリル再結晶工程後の反応釜から、エアードンプを用いて遠心分離機に移送する際、体調不良となった。作業時は防毒マスクを着用しており、アセトニトリルの体内吸収が原因と考えられる。	51	12	512	30～ 49人
43	2018	10	10 ～ 11	資材置場でサンプリング中、右足をパレットに乗せたときに腰に痛みがはしった。その際、バランスを崩して転倒し、全身を床に打ちつけた。	32	2	379	300 ～ 499 人
44	2018	10	16 ～ 17	工場内の軟膏製造室で、ボトル充填機の洗浄・組み立て作業後、電源を入れて動作を確認していたところ、薬剤出口に左中指を挟まれて切断した。	49	7	169	—
45	2018	10	13 ～ 14	工場倉庫で試験室から出た産業廃棄物を廃棄場所へ運搬中、約50cmの段差から地面に飛び下りたときに左膝を痛めた。	30	3	419	100 ～ 299 人
46	2018	11	8 ～ 9	手動操作でSP分装機に資材を切れ替えていたとき、機械のロール部分に手を巻き込み、右手親指と左手中指を欠損及び骨折した。	19	7	169	100 ～ 299 人
47	2018	11	14 ～ 15	充填ラインで荷積み作業中、1300×1300mmの木製パレットを作業員2名で持ち上げたとき、左膝を捻挫した。	54	19	921	50～ 99人
48	2018	11	19 ～	作業所梱包室で製造終了後、被災者は混合機排出用ダンパーのエアバルブを閉め、残圧を抜いてダンパー付近を洗浄しようとした。その際、同作業室内で別の作業者がエアガン用のエアバルブ	34	7	169	300 ～

			20	を開けようとし、誤って混合機排出ダンパー用のエアバルブを開けたため、ダンパーが閉まり、排出ダンパーに置かれていた被災者の右手人差し指を切断した。				499人
49	2018	12	10 ～ 11	分包機の刃の作業スピードを調整中に、誤って自ら操作スイッチを入れてしまい、右手中指に裂傷を負った。	64	8	169	50～99人
50	2018	12	19 ～ 20	更衣室前で足を滑らせ転倒し、足の楔状骨を折った。	64	2	416	1～9人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。